

2019年5月21日

各位

OSJBホールディングス株式会社

当社取締役会の実効性評価に関する評価結果の概要について

当社は、取締役会の実効性を高め企業価値の向上を図ることを目的として、当社の「コーポレートガバナンス基本方針」に基づき、2018年度における当社取締役会の実効性について分析・評価を行いましたので、以下の通り結果の概要を公表いたします。

1. 分析・評価の方法

自己評価・分析につきましては、外部機関の助言を得ながら以下の方法で行いました。

2019年3月に取締役会の構成員である全ての取締役・監査役を対象に、外部機関に直接回答する方法でアンケートを実施いたしました。外部機関からの集計結果の報告を踏まえ、2019年5月の定時取締役会において、その内容を分析・審議し、取締役会の実効性確保の状況を確認いたしました。併せて今回の結果を踏まえた対応について、取締役会において審議及び確認を行いました。

2. 評価項目

全ての取締役・監査役に対するアンケート（5段階評価の選択式設問および記述式設問、合計40問）。設問はコーポレートガバナンス・コードの改訂内容等を踏まえつつ、外部機関の助言を得ながら作成。主な項目は以下の通りです。

- I. 取締役会の構成について
- II. 取締役会の運営について
- III. 取締役・監査役に対する支援体制について
- IV. トレーニングについて
- V. 株主（投資家）との対話について
- VI. 自身の取組みについて

3. 分析・評価結果の概要

アンケートの結果等から、当社取締役会は、経験やバックグラウンド等の多様性や高い独立社外取締役比率が確保されていることや、前年抽出された課題を踏まえ、付議基準の見直しや社外役員の工場・現場見学会、ならびに機関投資家向け説明会への出席による企業理解の機会創出等、取締役会の運営改善により、2018年度における当社取締役会について概ね実効性が確保されていることを確認いたしました。

また、同時に、今後も更なる改善を要する事項について活発な議論を行い、以下の点について課題を認識いたしました。

- 1) 収益力・資本効率性等を意識した中長期的な事業戦略や投資戦略に関する議論の一層の充実

- 2) 取締役会の最高経営責任者（CEO）等の後継者育成計画の策定・運用への主体的な関与
- 3) CEOの選解任についての客観性・適時性・透明性のある手続きに関する議論
- 4) 社外役員に対する事前の議案の理解を深める機会と環境の整備

4. 今後の対応

当社取締役会は、今回の評価結果を踏まえ、取締役会の実効性の更なる向上を図るため、以下の対応に注力してまいります。

- 1) 事業会社による報告事項の再見直しや重要戦略事項の審議予定の計画化等の運営により、企業価値向上に資する十分な議論の時間を確保すると共に、次期中期経営戦略（特に資本効率を踏まえた成長戦略と投資戦略）の審議の充実を図ります。
- 2) 指名・報酬諮問委員会を活用し、求める人材像・選抜育成プログラムといった後継者育成計画を策定し、最高経営責任者の選解任について、客観的・透明性のある選解任の基準を策定します。また、本委員会での取組み状況や論点については、適宜取締役会に報告してまいります。
- 3) 取締役会開催前に社外取締役に対し、事案の背景やこれまでの判断のプロセス・論点整理等の情報提供を行い、事前の事案の理解を深め、議論が充実するための環境を整備します。また、引き続き社外取締役の当社理解と議論充実のため、社外役員間の意見交換会・役員トレーニングメニューの充実・機関投資家等のステークホルダーとの面談機会を確保いたします。

以 上